

平成 28 年 6 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社ヴィレッジヴァンガード  
コーポレーション  
代表者名 代表取締役社長 白川 篤典  
(JASDAQ・コード 2769)  
問合せ先 管理本部長 滝島 知樹  
電話 052-769-1150

## 子会社の異動（株式及び貸付債権譲渡）および特別損失の発生

### ならびに平成 28 年 5 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション（以下、「当社」）は、本日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社チチカカ（以下、「チチカカ」といいます。）の全株式を株式会社ネクスグループ、株式会社ネクスグループの兄弟会社である株式会社シークエッジ・インベストメントへ、当社保有の全貸付債権を株式会社ネクスグループへ譲渡することを決議しましたので、下記のとおりお知らせします。

また、本株式及び貸付債権譲渡に伴い、平成 28 年 5 月期連結決算において事業構造改善に係る特別損失を計上する見込となりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本株式及び貸付債権譲渡と併せ、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 4 月 14 日に公表いたしました、平成 28 年 5 月期（平成 27 年 6 月 1 日～平成 28 年 5 月 31 日）の通期の業績予想を修正いたしますのでお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 株式譲渡の理由

当社の連結子会社であるチチカカにつきましては、エスニックファッション及びエスニック雑貨の輸入販売を行ってまいりました。しかしながら、商品の魅力の減少によるブランド力の低下等により客数が減少し、それをリカバリーするために過剰なセール販売を繰り返した事で、さらに収益力が低下した結果、平成 27 年 3 月期第三四半期以降、売上昨対は 100%を下回る状況となり、業績が継続的に悪化いたしました。株式会社チチカカの平成 28 年 3 月期決算につきましては、既存店売上昨対 89.5%の実績により、営業利益、経常利益は対前年を下回りました。結果、当期純利益は 2 期連続の赤字、債務超過となりました。

当社といたしましては、チチカカ事業に対する事業構造改善を要することがグループ経営において課題となり、本部組織のスリム化、物流の効率化、不採算店舗の閉店などチチカカ事業の改革を行ってまいりましたが、一旦低下したブランド力の回復をするには至らず業績悪化に歯止めがきかない状態であったため、他社への株式譲渡検討など、さらに踏み込んだ当社グループの事業構造の改革が必要であると判断いたしました。

今後、当社グループがさらなる成長を遂げていくためには、中核事業である「ヴィレッジヴァンガード」を主要業態とし、オンライン販売を含めたビジネスへ経営資源を集中させ、当社グループの事業構造を抜本的に

改善することこそが、当社グループにとって最も投資効率が高く、株主価値の最大化に資すると判断しチチカカ株式を譲渡することといたしました。

譲渡先については、コンサルティング会社を通じて紹介を受けた3社の中から、当社の上記事情を十分に理解し、チチカカの事業価値を最も高く評価していただいた、株式会社ネクスグループ及び株式会社シークエッジ・インベストメントを譲渡先とすることといたしました。

譲渡価格につきましては、先方と協議の結果、有利子負債を除いたチチカカの事業価値については1,382百万円と妥結致しました。また、金融機関とも調整の結果、平成28年7月末時点でチチカカが有する予定の有利子負債5,753百万円（当社からの貸付分を含む）の内、1,373百万円の有利子負債をチチカカに残し、当社からの貸付分2,003百万円（平成28年7月末時点の見込み値）については、株式会社ネクスグループに8百万円（有利子負債を除いたチチカカの事業価値1,382百万円とチチカカに残る有利子負債1,373百万円の差額）で譲渡し、それ以外の2,376百万円については、当社からチチカカへ同額の増資を実施し、当該資金でチチカカが有利子負債を返済致します。

チチカカの株式については、当社がチチカカからの増資を引き受けることを実施したうえで、全株式を0百万円で譲渡いたします。

なお、前述の事業価値については第三者機関の算定書を取得し、取得資料を基に検討した結果、DCF法による算定結果を下回る額でないことから、妥当な価格であると判断しております。

当社からの貸付金2,003百万円の譲渡と増資で引き受けた株式2,376百万円の売却により4,371百万円の損失が発生致します。現時点でのチチカカ向けの債権額は2,003百万円ではありますが、仮にチチカカ事業の継続を断念することになれば、当社とチチカカは出店しているデベロッパーや取引銀行が重なっており、当社の今後の経営に大きな影響を及ぼすことがあることが考えられ、譲渡することに致しました。

## 2. 異動の方法

チチカカが平成28年8月1日に実施する増資を当社が引き受け、その後、当社が保有するチチカカ的全株式及び全貸付債権を、株式会社ネクスグループ、株式会社ネクスグループの兄弟会社である株式会社シークエッジ・インベストメントへ譲渡いたします。増資引受による資金につきましては全額銀行借入にて実施する予定であります。

## 3. 異動する子会社の概要

(1) 商号	株式会社チチカカ	
(2) 所在地	神奈川県横浜市港北区新横浜2丁目2-3	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 田中義章	
(4) 事業の内容	エスニックファッション及びエスニック雑貨の輸入販売	
(5) 資本金	99百万円	
(6) 設立年月日	平成17年7月1日	
(7) 大株主及び持ち株比率	株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション 100%	
(8) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	当社が議決権を100%保有しております。
	人的関係	当社の代表取締役2名が取締役を兼務しております。また、取締役1名が監査役を兼務しております。
	取引関係	資金の貸付を行っております。 当社と取扱い商品の売買があります。

	関連当事者への該当状況	当社の連結子会社であります。	
(9) 当該会社の直近3年間の経営成績及び財政状態 (単体)			
(単位：百万円)			
	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期
純 資 産	1,109	278	△2,207
総 資 産	6,678	7,001	4,967
1株当たり純資産(円)	1,120,852.11	281,802.12	△2,229,887.51
売 上 高	7,369	8,655	8,281
営 業 利 益	349	△540	△870
経 常 利 益	294	△565	△987
税 引 前 利 益	267	△742	△2,452
当 期 純 利 益	148	△830	△2,486
1株当たり当期純利益(円)	150,337.55	△839,049.99	△2,511,689.63
1株当たり配当金(円)	—	—	—

※資本金は、平成28年3月31日現在の金額です。前述のとおり株式譲渡前に2,376百万円の増資を予定しており、半額を資本金に組入れる予定のため、譲渡時の資本金は1,287百万円となる見込みです。

#### 4. 株式譲渡の相手先の概要

##### (1) 株式会社ネクスグループ

(1) 名 称	株式会社ネクスグループ	
(2) 所 在 地	岩手県花巻市柵ノ目第2地割32番地1	
(3) 代表者の役職・氏名	秋山 司	
(4) 事 業 の 内 容	デバイス事業、インターネット旅行事業	
(5) 資 本 金	1,819百万円 (平成27年11月現在)	
(6) 設 立 年 月 日	昭和59年4月	
(7) 純資産	連結 4,726百万円 (単体) 4,737百万円	
(8) 総資産	連結 14,303百万円 (単体) 9,060百万円	
(9) 大株主及び持ち株比率	株式会社フィスコ (34.58%) 株式会社フィスコダイヤモンドエージェンシー (19.95%)	
(10) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	当該事項はありません。
	人的関係	当該事項はありません。
	取引関係	当該事項はありません。
	関連当事者への該当状況	当該事項はありません。

##### (2) 株式会社シークエッジ・インベストメント

(1) 名 称	株式会社シークエッジ・インベストメント
(2) 所 在 地	大阪府岸和田市荒木町二丁目18番15号
(3) 代表者の役職・氏名	城丸 修一
(4) 事 業 の 内 容	投資業

(5) 資本金	12 百万円（平成 28 年 6 月現在）	
(6) 設立年月日	昭和 61 年 4 月 17 日	
(7) 純資産	7,674 百万円	
(8) 総資産	8,323 百万円	
(9) 大株主及び持ち株比率	白井 一成（72.08%）	
(10) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	当該事項はありません。
	人的関係	当該事項はありません。
	取引関係	当該事項はありません。
	関連当事者への該当状況	当該事項はありません。

#### 5. 譲渡株式数、譲渡前後の所有株式および譲渡価額の状況

異動前の所有株式数	1,990 株 (議決権の数：1,990 個) (所有割合：100%)
譲渡株式数	1,990 株 (株式会社ネクスグループ：1,791 株 90%) (株式会社シークエッジ・インベストメント：199 株 10%) (議決権の数：1,990 個)
異動後の所有株式数	0 株 (議決権の個数：0 個) (所有割合：0%)
譲渡価格	株式：1,990 円(1 株当たり 1 円) (株式会社ネクスグループ：1,791 円) (株式会社シークエッジ・インベストメント：199 円)

※所有株式数及び譲渡株式数は平成 28 年 8 月 1 日に予定している増資により増加した株式数を基準としております。

#### 6. 貸付債権の譲渡価格の状況

- (1) 貸付債権譲渡先 株式会社ネクスグループ  
(2) 貸付債権譲渡額 8,891,584 円  
(3) 貸付債権簿価 2,003,654,000 円

#### 7. 日程

- (1) 株式及び貸付債権譲渡契約に関する取締役会決議日 平成 28 年 6 月 30 日  
(2) 株式及び貸付債権譲渡契約締結日 平成 28 年 6 月 30 日  
(3) 株式及び貸付債権譲渡実行日 平成 28 年 8 月 1 日  
(4) チチカカ増資引受に関する取締役会決議日 平成 28 年 7 月中（予定）  
(5) 増資引受払込日 平成 28 年 8 月 1 日

8. 特別損失の計上について

本株式及び貸付債権譲渡事案は修正後発事象に該当し、当該事象は平成 28 年 5 月期に起因しているとして、平成 28 年 5 月期決算において事業構造改善に係る特別損失を計上する予定であります。

9. 通期業績予想の修正

(1) 平成 28 年 5 月期の連結業績予想(平成 27 年 6 月 1 日～平成 28 年 5 月 31 日) (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	45,653	△384	△409	△1,633	円 銭 △212.28
今回修正予想(B)	46,762	△303	△377	△4,388	△570.13
増減額(B-A)	1,109	80	32	△2,754	
増減率(%)	2.4%	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 5 月期)	46,025	761	804	69	9.06

(2) 平成 28 年 5 月期の個別業績予想(平成 27 年 6 月 1 日～平成 28 年 5 月 31 日) (単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	36,414	509	△1,831	円 銭 △238.04
今回修正予想(B)	36,360	702	△4,548	△590.99
増減額(B-A)	△53	193	△2,716	
増減率(%)	△0.1%	37.9%	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 5 月期)	36,367	1,429	967	125.77

(3) 修正の理由

(連結業績)

平成 28 年 5 月期につきましては、連結子会社である株式会社チチカカにおいて、業績悪化に伴い、取締役会にて事業構造改善の決議をしたことにより、事業構造改善に係る損失 3,291 百万円（固定資産減損損失 1,760 百万円、商品評価損 1,428 百万円、店舗閉鎖損失引当金繰入 102 百万円）を特別損失に計上しました。その結果、親会社株主に帰属する当期純利益は大幅に減少する為、平成 28 年 5 月期の連結業績予想を修正するものであります。

(個別業績)

平成 28 年 5 月期につきましては、マーケティング機能の充実によるコラボ商品企画、POS の有効活用を促進したディストリビューター制度の強化等、店舗運営におけるサポート体制の強化を図ったことにより、売上高は計画に対して 99.9%にて推移いたしました。在庫商品の販売においては、アウトレット店舗・大規模催事セールスの開催により在庫の消化に継続的に取り組んでまいりました。また、商品原価率低減・ロス削減にも取り組んだことにより売上総利益は計画に対し 101.3%にて推移いたしました、加えて販売費及び一般管理費の削減にも取り組んだことにより、営業利益、経常利益も増加いたしました。

しかしながら、今回、連結子会社の業績悪化に伴い、取締役会にて事業構造改善の決議をしたことにより事業構造改善に係る損失 4,807 百万円（関係会社株式評価損 437 百万円、関係会社貸倒引当金繰入額 1,844 百万円、

増資後株式売却による損失見込額 2,526 百万円) を特別損失に計上しました。その結果、当期純利益は大幅に減少する為、平成 28 年 5 月期の個別業績予想を修正するものであります。

※上記業績予想等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上